

予算

平成31(2019)年度当初予算の概要をお知らせします

園財政課（市役所6階） ☎32-2020

一般会計当初予算

当初予算の特徴

平成31(2019)年度当初予算は、事前にサマリーレビュー(新年度の予算編成に向けて、夏に事業の見直しや予算の洗い直しを行うこと)などによる事務事業の徹底した見直しを実施し、必要な財源を確保するため、地域づくり基金や財政調整基金を活用して予算編成を行っています。特に、平成31(2019)年度からスタートする「第5次総合計画中期実施計画主要事業」や「津山市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業」、「圏域連携事業」などを着実に実施していくため、重点的な予算配分を行っています。

歳出のポイント(性質別)

- 扶助費は、子ども医療費や民間教育・保育施設運営費の増などにより、1億3300万円(1.2%)の増
- 補助費等は、津山圏域資源循環施設組合や津山圏域衛生処理組合への負担金の増などにより、4億3600万円(5.6%)の増
- 普通建設事業費は、庁舎耐震化事業や幼稚園再構築施設整備事業の減などにより、15億2000万円(20.3%)の減

歳入のポイント

- 市税は、市民税や固定資産税、軽自動車税の増などにより、1億3000万円(0.8%)の増
- 地方交付税は、合併特例期間終了後の縮減率が拡大するもの、国が示した地方財政対策に基づく臨時財政対策債からの振り替えなどにより、4億9000万円(4.4%)の増
- 市債(市の借入金)は、臨時財政対策債や小中学校施設整備事業の減などにより、12億6200万円(18.8%)の減

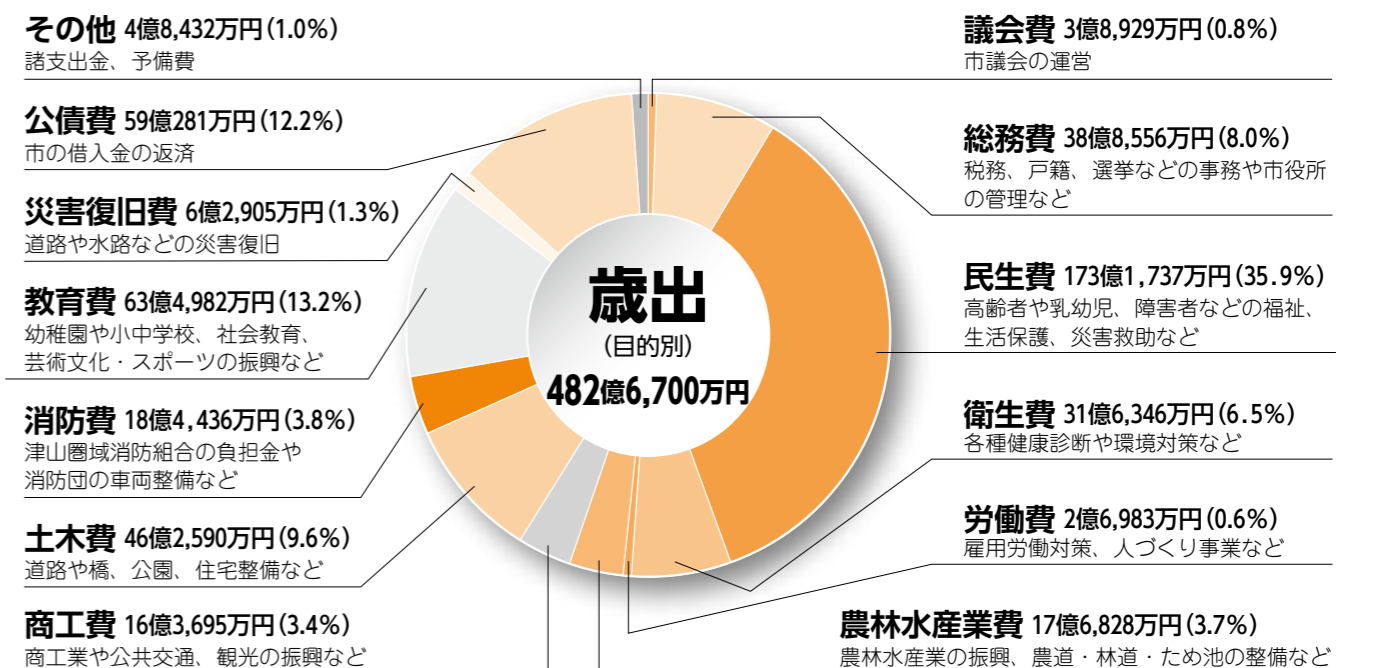
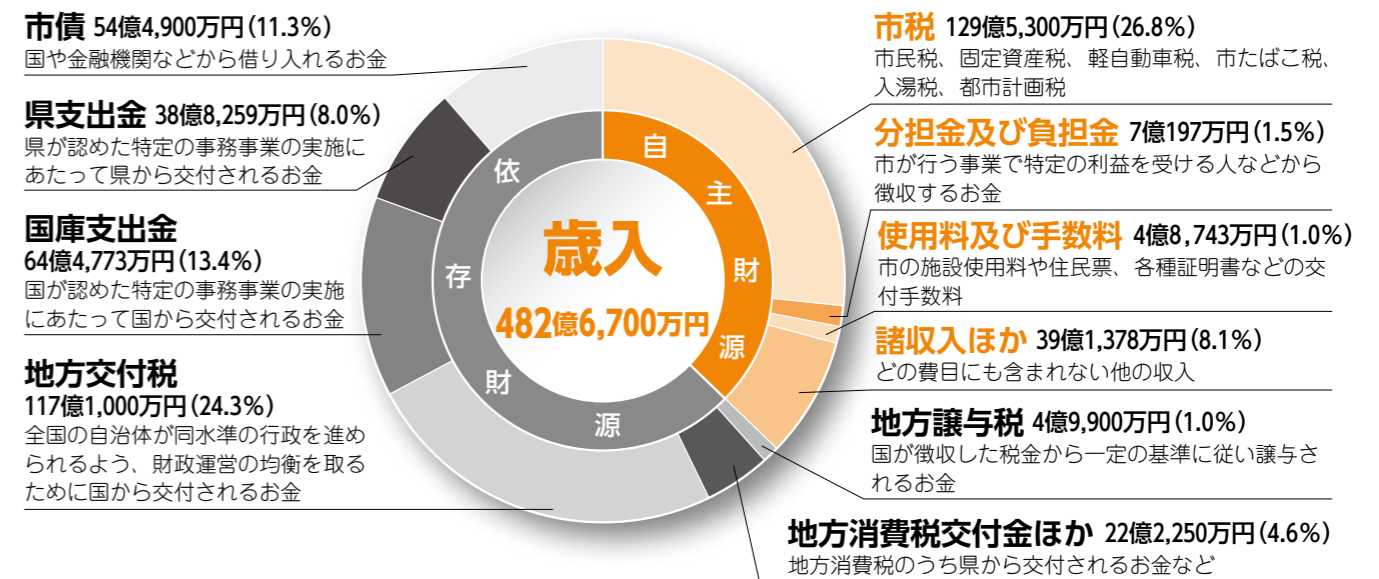
会計名	予算額
介護保険特別会計	104億6,151万円
国民健康保険特別会計	100億6,365万円
後期高齢者医療特別会計	13億9,003万円
土地開発公社清算事業特別会計	3億4,985万円
食肉処理センター特別会計	7,727万円
公共用地取得事業特別会計	1,108万円
奨学金特別会計	907万円
磯野計記念奨学金特別会計	618万円
財産区会計	3,645万円
下水道事業会計	71億4,221万円
水道事業会計	58億9,062万円
工業用水道事業会計	4,357万円

自主財源 180億5,618万円 (37.4%)
市税や使用料・手数料など、市が独自に調達するお金

依存財源 302億1,082万円 (62.6%)
国や県の基準に基づき、交付されたり割り当てられたりするお金

(注) %の数値は、小数第2位を四捨五入したもの

性質別歳出		
区分	予算額	構成比(%)
人件費	71億3,822万円	14.8%
物件費	54億9,881万円	11.4%
維持補修費	2億8,367万円	0.6%
扶助費	109億8,828万円	22.8%
補助費等	82億8,150万円	17.2%
普通建設事業費	59億6,702万円	12.3%
公債費	59億258万円	12.2%
繰出金	32億6,715万円	6.8%
その他	9億3,977万円	1.9%
歳出合計	482億6,700万円	100.0%



用語の説明

一般会計 福祉や教育、道路整備や産業の振興など、基本的な市の事業を行う会計

特別会計 特定の事業を行うために、特定の収入をその支出に充てるため、経理を独立して設ける会計

財産区会計 所有する山林などの管理や処分を目的とした、地方公共団体の特別な会計

下水道事業会計 下水道事業から得た収入で下水処理などの費用を賄う独立採算制の企業会計

水道事業会計 水道事業から得た収入で浄水や給水などの費用を賄う独立採算制の企業会計

工業用水道事業会計 久米産業団地に立地する工場への給水事業の企業会計